



「第15回日本のふるさと音楽祭」

7月24日(日)、子どもたちや地元で活躍する声楽家が鳥取ゆかりの童謡・唱歌を歌う「日本のふるさと音楽祭」が市民会館で開かれました。15回目となる今回は、第1部で子どもたちが元気な歌声を、第2部で鳥取を中心に活躍するソリストたちが澄み切った歌声をそれぞれ披露。最後は、子どもたちとソリスト、そして会場と一緒に「ふるさと」を合唱して、大盛況のうちに幕を閉じました。

佐治歴史民俗資料館

心あたたまる「ほのぼのの民話の集い」

8月7日(日)、「ほのぼのの民話の集い」が佐治歴史民俗資料館内の「民話の館」で行われました。この集いは、多くのみなさんに故郷の民話を楽しんでもらおうと、山陰地方の民話会やわらべ歌のグループを招いて行われたもので、さじ民話会によるおなじみの佐治谷話「キジとカラス」をはじめとするさまざまな民話が披露されました。ほのぼのとした民話の語り、訪れた人たちはひととき民話の世界に引き込まれ、聞き入っていました。



鹿野町鬼入道

「全日本トライアル選手権」開催！ 猛暑の中、華麗なテクニックを競い合う



8月7日(日)、鹿野町鬼入道の特設会場で「全日本トライアル選手権第5戦」が開催され、全国から122人のライダーが参加し、ファン

など約1500人が観戦しました。参加したライダーは、鬼入道の住民の手による自然の地形を活かした難コースに、日ごろ鍛えた強じんな体と絶妙なバランスで果敢に挑み、集まった観客を沸かせました。

神戸小学校

大盛況「神戸のももまつり」



7月31日(日)、中砂見の神戸小学校体育館で「神戸のももまつり」が開催され、その日の朝、穫れたばかりの新鮮な桃を買い求めようと多くの人が集まりました。用意された200箱の桃は2時間足らずで完売。主催した神戸村づくり会議の田村儀一会長は、「神戸の桃は岡山の桃に負けないくらいおいしく、そのうえ安い」と太鼓判を押していました。

用瀬町用瀬

伝統の「三角山夏祭り」



7月23日(土)、恒例の「三角山夏祭り」が行われ、用瀬町用瀬の各地区がそれぞれ趣向を凝らした出車を練り出し、まちを練り歩きました。地域の子

どもが少なくなっていく中で、この夏祭りには多くの子どもたちが参加。大人と一緒に毎晩遅くまで練習した多彩な踊りを披露しました。これからも、子どもから大人まで楽しめる地域の伝統行事として受け継がれていきます。

福部町湯山

「第16回砂丘ビーチ砂もり大会」



8月7日(日)、鳥取砂丘第2海水浴場で、「砂丘ビーチ砂もり大会」が行われました。大会には県内外から43チームが参加し、1チーム4人が、制限時間20分でどれだけ

高く砂を盛ることができるかを競いました。優勝記録は市内から参加したチームによる157センチメートル。当日は天候にも恵まれた絶好の海水浴日和で、参加者には夏のいい思い出となりました。